



外国出張報告書

平成 27 年 9 月 24 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 27 年 8 月
3. 出張目的 アフリカ稲作振興プロジェクトにおける農家圃場試験の開始および耕地環境プロジェクトでの圃場環境モニタリング：B

4. 成果の概要

1 硫安と尿素を組み合わせた施肥技術の農家圃場における実証試験については、昨年に準じた設計の試験に延べ 80 戸の農家の参画が得られ、50 か所の農家圃場に 1. 無施肥区、2. 尿素施肥区、3. 硫安施肥区、4. 尿素と硫安の混合区、の 4 水準の施肥処理を 2 反復で設置した。また、これらの農家圃場において、圃場環境や栽培管理法に関する農家への聞き取りを実施し、その暫定結果を取りまとめた。合わせて、GPS による地理データの記録および表層土壌の採取を行った。

2 プロジェクトサイト (Zaw 村) で、水環境の異なる 3 圃場に作付けしたイネの生育を観察し、各圃場に設置した水動態に関する機器材のデータおよび村落内の気象観測装置のデータを整理した。今作期は過去 5 年と比較して播種時期前後の降水量が極めて少なく、イネは出芽、もしくは出芽後の生育が著しく不良で、十分な群落形成がみられなかった。群落微気象を測定する自立型気象観測装置は SARI 圃場内での試験的な運用を行い、同観測装置の使用法や研究目的などについて、カウンターパートに説明した。